

第2回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模ホームあんきな

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護

日時：令和6年7月18日（木） 9:30～10:00

場所：第一会議室

出席者：8人

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	1人
事業所職員（職名：地域部部长 管理者、介護職員）			3人

議題：

1. 登録実績と利用状況について *別紙レジュメ参照
2. 近況報告
3. 外部評価について
4. その他

報告事項

1. 登録実績と利用状況について
 - ・新規利用者5月1名 登録修了者6月2名（死去1名、老健入所1名）
2. 活動状況報告
 - ・5月、6月の定員超過無し
 - ・職員研修について
 - （内部研修）
 - 5/28～5/29 排泄研修（尿失禁の種類、排泄ケアの手順）6名
 - （外部研修）
 - 6/19 メンタルヘルス研修 2名
 - 6/26～6/27 認知症実践者研修 1名

③外部評価関連

C：地域とのかかわりについて

- ・世界アルツハイマーデーに向けて「認知症の正しい知識」の「普及と当事者の思い等を伝える」目的でポスター展示協力予定
- ・朝波小学校児童下校時の見守り活動を継続中（スライド写真にて説明）

・総合相談のご案内

【目的】利用者及び利用者と関わりのある地域住民や商店等へ日頃から相談体制を構築するよう事業所が主体となって窓口の役割を果たす。

【利用者家族からの意見】

地域の相談は実際に件数があるのか疑問に思っており、どのように吸い上げようと考えているのか。

→地域への相談窓口は十年以上前から発信しているが、市役所や包括など公的な窓口もあり実際に件数が少ないのが現状。事業所としては、利用者の支援を通じて地域の方や店舗などに関わる中で相談やニーズなどを把握していきたい。また、運営推進会議の委員へも事業所の取り組みや目指している事業について理解を深めていただき、相談地域の方にも発信していただくようお願いした。

D：地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（スライドにて説明）

- ・波根まちづくりセンターでの活動に事業所の援助で利用継続 1 名
- ・腰部痛により休止中 1 名
- ・馴染みの美容室へ繋げたケース 1 名

【民生児童員の意見】

あんきな利用者がコーラス活動へ参加されているのは知っていたが、当初は車いすであったのに直近の会で歩いていたと聞いて驚いた。自分から「行きたい」という人は多いのか知りたい。

→自分から進んで何かをしたいと言われる方は少ない。今までの生活の中で大切にしていた楽しみや役割、居場所などを把握して繋げることで「～したい」と言っていただけの方が増えることを目指していると説明した。

E：運営推進会議を活かした取組み

前年度以下の意見があり今年度に反映した。

- ・事業所の取組についての理解が今一つイメージし難い。

→口頭報告だけでなく写真や動画を活用して取り組みが伝わるように変更した。

- ・外部評価の項目が分かりにくい。

→評価項目の文言を分かりやすい内容に変更（介護保険課へも了承済）

今年度は地域の方の心配事や相談、協力などがあがるように会議を通じて関係性を深めていきたい。

3.その他

前年度大田市へ待避所増設の要望書を提出した。6/24 に大田市土木課より回答があり、土地改良区の場合については舗装、設置可能となった。施工時期は決まり次第連絡を受ける予定。

次回開催日：令和 6 年 9 月 18 日（水）9：30～10：30